

ホーチミン日本人補習校教師研修展開案

展 開

学 習 活 動 と 内 容	指 示 ・ 発 問 ・ 説 明 ・ 留 意 点
<p>1 全文を音読する。</p> <p>(1) 10 行詩であることを確かめる。</p> <p>(2) 生徒が追い読み</p> <p>(3) 全員で交互読み①</p> <p>(4) 全員で交互読み②</p> <p>(5) 男女で交互読み①</p> <p>(6) 男女で交互読み②</p> <p>(7) 個人で読みの練習①</p> <p>(8) 教師が追い読み</p> <p>(9) 個人で読みの練習②</p> <p>(10) 視写</p> <p>(11) 暗唱</p>	<p>指示 1 : この詩は何行でできていますか。 ※ 10 行詩であることを確認した後、追い読みさせる。</p> <p>指示 2 : 一行ずつ先生の後を追いかけて、読みます。</p> <p>指示 3 : 今度は、先生とみなさんで一行ずつ交代で読みます。先生が一行読んだら。みんなは二行目を読みます。一行ごとに交代で読みます。</p> <p>指示 4 : 今度は、みなさんが先、先生が後に読みます。さんはい。</p> <p>指示 5 : では、今度は男の子がさき。そのあと女の子が読みます。一行ごとです。さんはい。</p> <p>指示 6 : 逆にします。女の子がさき。男の子があとです。さんはい。</p> <p>指示 6 : 全員起立。それぞれが声を出して読みます。すらすら読めるようになったら、座りなさい。</p> <p>指示 7 : 最後にみんなで読みます。まるで一人で読んでいるようになめらかに読みます。一行読んだら、先生が後を追いかけて読みます。さんはい。</p> <p>指示 8 : 全員起立。3回以上読んで、すらすら読めるようになったら、座りなさい。</p> <p>指示 9 : この詩を、そっくりそのまま視写しなさい。合格しなかったら何度でもやり直しをさせます。 ※ 教師も詩を板書する。 ※ 早く書けた子から、ノートを持ってこさせ、チェックする。 【評価の観点】 ・ 行がそろっているか ・ 連と連の間が一行空いているか ・ 句読点はきちんと書かれているか ※ 早くできた子には、「自分に聞こえる声で暗唱していなさい。」と指示する。</p> <p>指示 10 : 全員起立。題名と作者名と最初の二行。そこまで覚えたら座りなさい。</p> <p>指示 11 : すばらしい。では、四行目（一連目）まで覚えたら立ってごらんなさい。</p>
<p>2 朗読・視写・暗唱のふりかえり</p>	<p>発問 1 : いかがでしたか。学級での指導に使えるそうですか。</p>